

2026年6月1日

愛知県北名古屋市にサステナビリティに配慮した新工場が稼働

明治電機工業株式会社（社長：杉脇弘基、本社：愛知県名古屋市）のグループ会社である名電エンジニアリング株式会社（社長：伊佐治敦、本社：愛知県北名古屋市）は、最新設備を備えた新工場を本日稼働しました。本工場は、環境・効率性・快適性・防災のすべてを高次元で実現した次世代型拠点となります。

1. 新工場建築の目的

本社の設計・製造機能と、金山事業所のサービス事業部（中央監視装置の新規立ち上げ・試運転・点検、データベース構築等のエンジニアリング業務を担う保守メンテナンス部門）の3つの機能を統合することにより、さらなるシナジー効果の向上を図ります。また、同事業部の知見をタイムリーに盤設計に反映させることで、現場運用に即した高品質な設計の実現が可能となります。

2. 新工場の概要

所在地	愛知県北名古屋市九之坪五反地 6 番地
敷地面積	3,341.88 m ²
延床面積	2,016.70 m ² （事務所 993.2 m ² / 工場 1,023.5 m ² ）
構造	工場棟と事務棟の独立構造（別棟）
主設備	組立、検査、倉庫、事務所機能を集約

3. 新工場の特徴

①働きやすさを追求した快適環境

旧工場の課題であった振動・温度環境・作業効率を抜本的に改善しました。

②生産性を高めるレイアウト設計

組立・搬送・出荷の全工程で効率化を実現し、安定した品質と生産力の向上を実現します。

③デザイン性と機能性の融合

「ダイナミック×アットホーム」をテーマに、企業価値向上を意識した外観・内装を設計しました。

④地域社会との共生・環境配慮

地域に根差した企業として、社会的責任を果たします。

⑤災害に強い安心設計

新川氾濫警戒区域に立地することから、国の基準に基づいた高度な防災対策を実施しています。



新工場外観



新工場内観

また、同時に名電エンジニアリングの企業ロゴを刷新しました。



新しいロゴは、名電エンジニアリングの中核事業である電気・電気制御、配線・電線を象徴する形状をベースに構築しました。ロゴタイプ「MEIDEN ENG」の“E”を一つ際立たせることで、Electricity=電気の専門性を象徴しています。さらに、横軸に伸びるダイナミックなラインは、技術革新と企業としての前進力を視覚的に表現しています。

新しいロゴは、社内投票で選ばれたデザインをもとに、さらに磨きをかけて完成させたものです。社員の声を反映した“みんなで作ったロゴ”として運用していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

明治電機工業株式会社
広報・サステナブル推進課
TEL (052) 451-7723
e-mail: info@meijidenki.co.jp